事務事業評価シート

評価実施年度： 平成２９年度

上位の施策名称	施策Ⅱ－５－６ 居住環境づくり

1.事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	土木部　都市計画課長　西村成人	電話番号	０８５２－２２－５２０９

事務事業の名称		都市公園の管理運営
目的	（１）対象	県立都市公園利用者
	（２）意図	都市公園の機能を維持し、安全で快適な利用を確保する。
事業概要	県立都市公園（浜山公園、石見海浜公園、万葉公園）の適切な維持・修繕・管理運営を行う。	

2.成果参考指標

成果参考指標名等			年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	公園利用者数	目標値		139.0	139.0	139.0	139.0	万人
			取組目標値						
	式・定義	公園利用者数	実績値	145.4	139.2				
			達成率	－	100.2	－	－	－	%
2	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	－	－	－	－	－	%

3.事業費

	前年度実績	今年度計画
事　業　費（b）（千円）	368,093	341,777
うち一般財源（千円）	357,208	331,524

4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）

5.評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・平成28年度の県立都市公園の利用者数は139.2万人であり、各公園とも天候不順やこれに伴うイベント中止等により、平成27年度と比べ4.3%（6.2万人）の利用者減となったが、目標は達成することができた。
　（浜山公園　3.4万人、石見海浜公園　2.4万人、万葉公園　0.4万人の減）
・平成２２年度より指定管理者評価制度を導入し、外部委員による評価を受けている。その結果を今後の公園管理に反映し、適正な管理水準を維持し、県民サービスの向上を図った。

6.成果があったこと（改善されたこと）

・平成２８年度の達成率は、１００．２%と目標を達成した。
（浜山公園　100.9%、石見海浜公園　99.1%、万葉公園　101.2%）
・浜山公園陸上競技場について、第1種公認を継続できた。
・県民のイベントへの参加機会を拡大できた。

7.まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・施設の維持管理費が増加傾向にある。

②困っている状況が発生している「原因」

・施設や設備の老朽化

③原因を解消するための「課題」

・公園利用者のニーズを踏まえた施設・設備の改善

8．今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・公園利用者のニーズに対応したサービス（スポーツ・余暇活動拠点、都市防災拠点、地域振興拠点等）を提供するために、施設の適切な整備や維持管理を推進し、安全で安心な施設利用に貢献することで、公園利用者数の増加に努める。
・施設・設備の現状や公園利用者のニーズを踏まえ、優先順位を設定した上で改善を行う。